

依存症に立ち向かうスペシャリストの育成

「ギャンブルが身近になる社会」にどう備えるか ——
正しい理解と支援力を育てる、新たな一歩。

オンラインカジノやIR(統合型リゾート)の広がりを背景に、ギャンブル等依存症に対する正しい理解と対応力が、今まさに社会全体に求められています。

スマートフォンから簡単にアクセスできるオンラインカジノの存在は、とくに若年層における依存リスクを高めており、ギャンブル環境が私たちの日常生活の中に深く入り込みつつある現状があります。

こうした社会的課題に対応すべく、ギャンブル等依存症対策研究会(代表理事:谷岡一郎・大阪商業大学学長)では、依存症に関する正しい知識と対応力を備えた専門人材を育成することを目的に、「ギャンブル等依存症対策士」検定制度を創設しました。

「ギャンブル等依存症対策士」資格試験、今年度も実施いたします

「ギャンブル等依存症対策士」資格は、依存症の予防・早期発見・適切な対応を担う力を身につける民間資格として注目されており、2025年度は7月と12月にベーシックコースの認定試験を実施。すでに医療・福祉関係者、公務員、教育関係者、企業の人事担当者など全国から幅広い関心が寄せられています。

また、昨年度は大阪商業大学にて6月と11月の毎週金曜日(全4回)に分けて、ベーシックコースの資格認定講座も開講。同講座は、2025年度の大阪商業大学開講講座として、社会人の方でも参加しやすい時間帯に設定されました。

※今年度の開催概要は決まり次第公式HPにて発表。



当研究会発行の認定テキストを用いた自学自習により、認定資格の受験も可能です。合格された方には、当研究会より認定証を発行いたします。なお、本資格は5年ごとの更新制です。

高まる依存症リスクに応える、新たな人材育成の仕組み

「ギャンブル等依存症対策士」は、ギャンブルがより身近になる社会において、“知っておくべき常識”としての依存症対策の重要性が今後ますます高まることを見据えた資格です。

また、ゲーム依存などを含む「プロセス依存」についてのメカニズムも体系的に学ぶことができ、自分自身の予防はもちろん、家族・友人・同僚など身近な人への適切な関わり方や介入の手順も身につけることができます。

ギャンブル事業関係者をはじめ、医療・福祉関係者、公務員、学生、企業の人事担当者が本資格を取得することで、組織内における依存症の早期発見や治療支援の起点となることが期待されています。

あわせて、精神疾患に関する基礎知識を有していることの客観的な証明にもなります。

ギャンブル等依存症を正しく理解し、支援の力を社会に広げていくために、より多くの方にこの知識を身につけていただけることを心より願っております。

一般社団法人ギャンブル等依存症対策研究会

資格や研究会に関する詳しい内容は、公式サイトをご覧ください。 <https://pgcs.jp/>

